ひかりの園だより

ともに

第69号

発行日：平成30年6月
編　集：法人本部事務局

社会福祉法人 ひかりの園

「ともに 100 歳！」

支援のワンポイント

嚥下食のケア

毎日の食事は、生きる喜びでもあります。楽しく食事をしたいと思いながらも、飲み込む力が弱く、咽たりすると食欲が減退してしまいます。嚥下力が低下しても、いくつかの工夫で口から食べる事は可能となります。ご自分で食べられる方も食事介助する方にも共通する事ですので確認してみて下さい。

第１は、食事に集中できる環境をつくります。食事をする人の興味をそらす物(テレビ等）が近くにないか、食事中に他者が話し掛けていないか見渡してみましょう。第２は、食べる前に確認する事で口腔内の衛生や体操です。口腔内が腫れていたりしたら食べられません。また歌を歌ったり嚥下体操をする事で、舌等を動かして食べる準備が出来ます。そして直前に何を食べるかを目で見て頂く事が大切です。第３に、安全で食べやすい食べ物を選ぶ事です。温度は冷たいか熱いかはっきりした温度で、味付けもはっきりした物(やや濃いめ）が良いです。形態としては硬すぎず、変形しやすい(硬くてパサパサは不適当）で、口の中で塊になりやすい物が良好です。また味噌汁の様に個体と液体が混在していると咽やすいので、あん等でトロミを付けると食べやすくなります。

食べる時は、分量はティースプーン１杯程度とし、飲み込みを確認して頂ける位のスピードで、食事時間は３０分以内が良好です。長い時間になりますと疲れてしまいます。また食後３０分は、逆流を防ぐ為に身体を寝かさない事が大切です。いつまでも口から食事を摂取出来る様にポイントを押さえるとスムーズに食べる事ができます。笑顔のある日々を送って下さい。

社会福祉法人 ひかりの園の概要

理事長　川島順三
法人本部　事務局長　太田敏明
〒 433-8108　浜松市北区根洗町 681-5
TEL(053)437-8289　FAX(053)430-0819
E メール info@hikarinosono.or.jp

ひかりの園ホームページ
http://www.hikarinosono.or.jp/

特別養護老人ホーム **静光園** 園長　山中康義 ☎ 053-445-1300	養護盲老人ホーム **第二静光園** 園長　佐藤三四二 ☎ 053-428-3128	特別養護老人ホーム **第三静光園** 園長　栗本昌紀 ☎ 053-437-8288	小規模多機能型居宅介護事業 **なごみの家** 管理者　和久田勝教 ☎ 053-445-1753	グループホーム **コムニオ湖東** 寮長　鈴木秀明 ☎ 053-485-4600
児童発達支援センター **浜松市根洗学園** 園長　松本知子 ☎ 053-436-9318	子ども発達センター **たっく** 園長　松本知子 ☎ 053-485-6122	生活介護 **根洗作業所** 所長　深見　誠 ☎ 053-436-5529	生活介護 **青葉の家** 所長　犬塚　淳 ☎ 053-570-1700	生活介護 **こもれびの家** 所長　藤井良之 ☎ 053-439-8235
生活介護 **工房めい** 所長　大橋奈実世 ☎ 053-430-4710	生活介護 **工房ゆう** 所長　鈴木秀明 ☎ 053-570-1310	障害者支援施設 **浜松協働学舎根洗寮** 寮長　大橋奈実世 ☎ 053-430-0596	グループホーム **ラポール根洗** 寮長　平野貞裕 ☎ 053-420-1325	手作り陶器・手作りクッキー 焼きたてパンのお店 **しまうま倶楽部** こもれびの家併設店舗 三方原霊園バス停の東側です。 ☎ 053-439-8235
グループホーム **すてっぷ・ほっぷ** 寮長　大橋正季 ☎ 053-570-1702	グループホーム **こもれび** 寮長　藤井良之 ☎ 053-439-6800	グループホーム **ばれっと** 寮長　大橋正季 ☎ 053-420-0250	相談支援事業所 **ま　ど** 室長　高木誠一 ☎ 053-570-1312	

編集後記

鵜飼由美子

異分野の方々と「ともに」を作り上げていく中で、それぞれの現場の職員たちが努力･学び･達成の毎日である事を改めてズッシリ感じます。どの写真も、ご利用者と職員がとてもキラキラしています。素敵な笑顔ばかりです。これぞ切磋琢磨の賜物です。『ひかりの園』を多くの方に知っていただけるよう、「ともに」がたくさんの人に届きますように!

第三静光園
共に白髪の生えるまで

百歳雛（ももとせびな）

皆さんは百歳雛をご存知ですか。白髪に白髭のお内裏様、白髪のお雛様が並んでおられる雛人形です。ご夫妻が金婚式を迎えた折や、共に長寿で節目を迎えられた時などに、ご家族からお祝いでお贈りするお雛様だそうですが、第三静光園には文字通り「百歳雛」のご夫妻がいらっしゃいます。

春太郎さん104歳、まつ子さん100歳。ご結婚されたのは昭和13年の事ですので、今年で結婚80周年を迎えられます。「お前百まで わしゃ九十九まで 共に白髪の生えるまで」という言葉を超えた人生を歩まれてこられた素晴らしいご夫妻をご紹介しましょう。

春太郎さんは大正3年2月三方原村（現在の北区三方原町）の生まれです。父親は第1期の三方原開拓に参加され3千坪ほどの茶畑を経営し、また、旧三方原村の村議会議員を務められたという村でも有数の家庭の5人兄弟の長男です。三方原村営小中学校を卒業されて、父親と一緒に家業の農業に従事されていた24歳の時、同じ三方原村にお住いで機織りの工場にお勤めだった20歳のまつ子さんと縁あってご結婚。これを機にお二人の二人三脚の暮らしが始まります。夫婦そろって畑に出て汗を流し、共に笑い、共に涙する。慎ましいけれども暖かな家庭がそこにはありました。

しかし、穏やかに流れる日々もそう長くは続きません。その年の7月には大陸で盧溝橋事件を契機に日中戦争が勃発。時代は第二次世界大戦に向けてまっしぐらに突き進んでいきます。春太郎さんとまつ子さんにもその流れは容赦なく押し寄せ、B29が本土への空襲を始めた昭和19年、春太郎さん30歳の時、ついに召集されて中国大陸へ向かいます。最愛の妻と3人の幼子を残し、必ず生きて帰ってくると心に誓っての出征でした。

残されたまつ子さんには子育てと同時に、春太郎さんの代わりに舅と力を合わせて広大な茶畑を維持する仕事ものしかかってきました。当時の三方原台地は痩せた土地で、茶畑を維持するためには浜松の中心部まで下肥をもらいに行かなければなりませんでした。息子さんたちの話では、毎夜毎夜、興誠高校（現在の浜松学院高校）の坂を上り下りして運んでいたそうです。

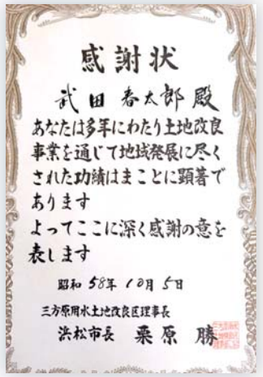
それでも弱音ひとつ吐かず、家族のためにと毎日懸命に働いたまつ子さん。当時の話を伺うと、「そりゃ大変だったよ。食べるもんもないしねぇ、大変だったよ。」と目を細めて昔を懐かしむようにお話になります。

一方、大陸に配属された春太郎さんは最前線での先行部隊に所属し、毎日20㌔を超える機関銃を背負って、北京、南京、蘇州など中国全土を行軍していました。こちらも食べるものが手に入らず、現地の民家に忍び込んでは食料をいただいたり、子牛のような大きさの犬を仕留めては食いつなぐ毎日でした。多くの方が食糧不足で衰弱し、少しでも油断して倒れれば周りの野犬が虎視眈々と狙ってくる、文字通り弱肉強食の世界でした。春太郎さんと同時期に静岡から先生やお坊さん、サラリーマンなど数百人もの方々が中国の戦場に行かれましたが、無事帰還されたのはわずかに5・6人だったと話してくださいました。

春太郎さんが帰郷された時には、出征から3年半もの月日が流れていました。

敗戦で食糧や住宅、働き場が不足している日本は、再建の緊急事業として開拓を促進します。春太郎さんの故郷三方原にも600人余りの方々が全国から入植し、開拓農家の組合も結成されました。皆、明るい未来に向けて夢を膨らませての入植でした。

しかし当時の三方原の土地は、「満州開拓では、同じ荒野とはいえ肥料なしでも作物が収穫できたというから、三方原はそれよりも大変じゃないか」という声が聞こえるほど荒れた原野が広がる極端に酸性の強い土壌で、「とても畑にはならない」と言われていました。しかも開拓関係の制度も充分整っておらず、また、開拓者の多くは多少腕に覚えはあれども農業経営経験は皆無という人たちの集団だったようです。そのような中、戦前から農業を営んできた春太郎さん、まつ子さんは、自然に開拓事業の輪の中心になっていきました。



農地の地質改良はもちろん、資材や農機具などが運びやすいように道路を拡充したり、井戸を掘るポンプを動かすために電気を引くよう掛け合ったりと、いつ家にいるのだろうと思うくらい駆け回っていた春太郎さん。子育てと茶畑の維持に奮闘しながら春太郎さんの活動を陰で支えるまつ子さん。「この二人だからこそできたことなのだろう。でも、幼いころに親に遊んでもらった覚えがない。」と子供さんたちはしみじみと当時を振り返っていました。

その後も自治会長、老人会長など地域の要職を歴任。すべて地元三方原のための生活でした。お二人で旅行に行くなどということはめったになかったそうですが、古いアルバムから貴重なお写真を見せていただきました。そこには、息子に代を譲り、やるべきことをやり遂げた春太郎さんとまつ子さんの穏やかな笑顔が写っていました。

高齢や、さまざまな病気・けがの影響がありながらもご家族との暮らしを続けてこられたお二人でしたが、平成27年5月にまつ子さんが、平成29年5月には春太郎さんが第三静光園に暮らしの場所を移されました。

いつもひょうひょうとして杖を片手に歩いておられる春太郎さん、足の骨折で車いすの生活を余儀なくされたものの、しっかり者のまつ子さん。目に見えてではないけれど、いつもお互いがお互いのことを気にかけていらっしゃるご夫婦の姿がここにはあります。

80余年を共に歩かれてこられたお二人の二人三脚は、まだまだ続きます。

新人職員のことば

根洗作業所
菅沼 高代

私はまだ特に大きな目標はありませんが、ご利用者と一緒に楽しみ、成長していきたいと思います。そうした中で自分自身が成長し、周りの方を支え、ご利用者にも信頼される支援員になれたらいいなと思います。

根洗作業所
鈴木 健介

人の役に立ちたいと思い、福祉の世界に入りました。入職して半年が経ちますが、お陰様で楽しく業務に取り組む事ができています。人のご縁を大切にして、ご利用者の笑顔をつくる仕事をします。

根洗作業所
増田 千咲

私の将来像は二つあります。まず一つ目は、ご利用者の心に寄り添う支援をする姿です。もう一つは、事務員として、社会福祉制度について学び、今後の制度の変革を予想できる力を身につけていきます。

工房めい
荒川 弘美

一日一日を大切に過ごし、些細な事も喜びにかえ、共感共有し、お互いに自己の充実を持って共に人生を楽しめたらと思います。明日への楽しみや希望につながる支援が出来たら嬉しいです。

工房めい
田中 未湧

自分の行動に不安や自信が欠ける事もありますが、ご利用者が安心安全で仕事に取り組めるよう、笑顔でコミュニケーションを取り、気持ちよく通える様な職場、職員になれる為に頑張りたいです。

相談支援事業所まど
疋田 陽子

3 月から働き始め、まだ慣れないことばかりですが、少しずつ仕事を覚え、今後は、ご利用者の状況などを理解し、よりよい支援ができるように勉強していきます。

すてっぷ
小嶋 邦生

私は、ご利用者が私と関わる事で暖かい気持ちになったり、笑顔でいられる支援が出来るようになりたいです。笑い声のたえない空間を作るように努めていきたいと思います。

こもれびの家
平山 はつ美

私は、いつも温かい支援のできる職員になりたいです。ご利用者の笑顔をたくさん見られるよう、私自信も笑顔で日々の仕事に取り組んでいけたらと思っています。

根洗学園
匂坂 里美

これから学んでいく事が沢山あり、不安も多いですが、一つずつ身につけスキルアップしていきたいと思っています。そして、今は周りの方に助けてもらう事ばかりですが、助けられる (お返しできる) ようになりたいです。

根洗学園
田中 由紀子

未経験からのスタートですが、一つひとつの出来事、子どもとの関わりを丁寧に大切にしながら、成長していきたいと思います。子ども、保護者の気持ちに寄り添い、受け止められる児童指導員になりたいです。

根洗学園
中嶋 将人

私は根洗学園において、子どもたちが笑顔で元気に過ごせるように、自分自身が常に笑顔で元気に過ごしていきます。そして子どもたちやご家族の方に、根洗学園で、この先生でよかったと言って頂けるようにしていきたいです。

根洗学園
平野 恵子

近年、支援を必要とする子どもたちが増えている中、乳幼児保育の道から療育の道を志しました。子どもたちとご家族の方々が、日々安心して過ごして頂けるように心に寄り添った療育を心がけ、微力ながら尽力していきます。

子ども発達センターたっく
浅倉 万里子

学生時代に実習をさせていただき、たっくに通う子どもやご家族の笑顔に惹かれました。新社会人、そして一人の専門職者として、いつでも笑顔と感謝の気持ちを忘れず成長し続けられるよう頑張ります。

子ども発達センターたっく
寺澤 友尊

私が職場における「将来像」は、たっくに来る子どもたちが主体となって活動できるよう気持ちを受容できる先生になりたいです。それだけではなく、ご家族の心にも寄り添った支援をしていきたいと思います。

静光園
内山 大輔

私は、ご利用者にとって 頼りにされる、何でも話せる、気軽に声を掛けていただける、そんな存在の職員になりたいと思っています。ご利用者と楽しい時間を常に共有できる喜びを忘れずに日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

静光園
大橋 舞

特別養護老人ホームで勤務をさせていただくにあたって、ご利用者のこれからの生活がより良いものになるように、個別性を尊重し一人ひとりのご利用者とゆっくり関わり、思いやりをもって寄り添えるようになりたいです。

静光園
篠原 晃司

一人でも多くのご利用者が、自分という事が楽しい、静光園で過ごせている事が楽しいと思って頂ける様な介護職員を目指していきます。笑顔が溢れる生活の場にしていきたいです。

静光園
戸高 未来

個々のニーズや思いを尊重し、ご利用者の支援をします。いつも安心して穏やかに、そして最期の時を迎えられるときも、ご利用者に寄り添い、お手伝いが出来るよう知識や経験を更に身につけたいです。

第二静光園
磯田 理恵

ご利用者とコミュニケーションをとりながら一人ひとりの健康状態を常に把握し、ご利用者が健康に過ごせるよう支援していきたいです。また、他職種との連携を大切にして、誰からも信頼される看護師になれるよう頑張ります。

第三静光園
鈴木 達也

私は障がいのある人と共に暮らす、家族が安心して生活できる環境づくりに貢献したいです。確かな介護技術と知識を身につけて的確なアドバイスができる福祉事務所の経営や介護保険外サービスの提供に取り組んでいきたいです。

第三静光園
染谷 亨佑

前の職とは全く違う為、自分の知らない世界に飛び込んでいくのは不安ばかりです。ですが、若さと持ち前の明るさで笑顔をたやさない職場に自分が中心となっていく様になっていきたいです。

第三静光園
田上 詞慎

今現在でも自分の話した言葉は正しかったのか、介護の知識や技術はまちがっていないかなど不安になることもありますが、先輩職員に聞いたり相談しながら日々学んでいこうと思います。

第三静光園
西岡 みのり

ご利用者一人ひとりの生き方や考え方を大切にし、穏やかに笑顔で日常が送れるように、介護職も看護師も協力して、楽しく介護をしていきたいと思います。自分の知識や経験も充分に活用していきたいです。

第三静光園
野口 絵里

施設で働きだして早 10 か月。私の中の理想と現実の違いに時に苦しみますが、職場では笑顔でご利用者に接していく事を心掛けていきたいです。ご利用者にとって、安心出来て信頼を置ける介護職員になります。

第三静光園
松本 優弥

配属先のご利用者の方々や職員も笑顔でいられる施設にし、ご利用者の方々が過ごしやすい生活を作るのが私の夢です。

第三静光園
村田 美弥子

この仕事に就き、半年を迎えられた事は、主任を始め先輩職員のお一人おひとりが丁寧にご指導してくださったお陰です。これからは少しでも力となれるよう微力ではありますが、細く長く続けていく様楽しくやります。

根洗寮
田口 滉大

私自身障がいを持って産まれ、今まで色んな思いで生活してきました。そんな私だからこそできる支援、援助をしていきたいと思っています。将来の夢は障がいのある方と共存できる社会の実現です。

根洗寮
牧田 昌花

私はご利用者の方と支え合い、共に生きていけるような関係を築いていきたいと思っています。そのために、ご利用者の方との日々の出来事や過ごす時間を大切にすると同時に、人としても成長していきたいです。

根洗寮
松本 文隆

入職をして 1 年近くになりますが、毎日が勉強の日々です。支援の中で昨日は上手にいったけど今日はダメだったという事もたくさんあります。ご利用者の皆さんが私を見て、安心してもらえる様な存在になりたいと思います。

法人自主勉強会

昨年度の 12 月から始めた自主勉強会も今回で 7 回目を迎え、2 月 2 日は、青葉の家を会場に「各分野におけるケアマネジメントとは？」をテーマとして開催しました。

冒頭で当法人理事でもある、相談支援事業所まど所長高木氏よりケアマネジメントの概要について、加えて第三静光園介護の相談センター柏原氏より介護保険におけるケアマネジメントの特徴等に関する話を事例も含めお話を頂きました。また子ども発達センターたっく西尾氏より施設での児童発達管理責任者の立場、相談支援事業所まどの児童相談の立場から現状・課題等について、浜松協働学舎根洗寮美和氏より地域包括ケアシステムについて、様々な事務局業務からのネットワークの作り方等についてお話頂きました。

意見交換の場では、事例を通して複合的な生活課題を議論し、有効的な社会資源の活用・その関わり合い方を討論しました。それぞれの立場から意見をたくさん出して頂き、とても有意義な時間となりました。

今回の勉強会でも改めて児童・障がい・高齢分野の連携、協力体制の必要性が強く感じられたと同時に、直接支援に関わっている支援員同士の繋がりや連携、協力体制も一緒であると感じる時間となりました。

法人合同研修

「リーダーとしての役割を学ぶ」

昨年の 11 月に、勤続 4 年以上の職員を対象にした法人合同による中堅職員研修を開催しました。ツクイスタッフの専任講師をお招きし、「福祉現場におけるリーダーシップ強化」をテーマに、リーダーシップに必要な知識と現場で活用できる技術を学びました。

リーダーシップには心掛けるべき 4 つの目標があり、1 つ目は、部下や後輩に目標を与え、感謝や労いを伝えること。2 つ目は、仲間たちの能力や意見を引き出し、希望や不安を汲み取ること。3 つ目は、理想と現実のギャップを近づけ、仲間との距離を縮めていくこと。4 つ目は、引き出した意見や業務などをまとめることになり、それら全ての情報を正確に掴み、適切な評価を与えるためにも、相手の話をしっかりと「聞く技術」が大切であることを学びました。リーダーに求められる役割を具体的に理解することで、自分たちの進むべきリーダー像が明確になりました。

私たちの福祉の仕事では、リーダーに求められる役割、責任は日々大きく、当日のリーダーによって業務の流れやケアの方向も変わってきます。また、チーム連携の仕事でもあり、リーダーが部下や後輩に指示を出すだけでは、同じ目標を認識しながらご利用者支援を行っていくことは難しいというのが現状です。

今回の研修では、リーダーのスキルと同等に、部下や後輩との良好な関係作りが非常に重要であることを改めて知る機会となりました。風通しの良い職場環境を作り、ご利用者支援、円滑な業務の遂行につなげていきたいと思います。

平成30年度　永年勤続者

30年

静光園　稲木　祐美
第三静光園　家現多加志
第三静光園　足立　佳代
協働学舎　小針　秀樹
掛井　直樹
大橋　正季
平野　貞裕
横田美佐子

20年

静光園　小田　猛士
加藤由香里
森長　幹雄
第二静光園　平山　明美
第三静光園　鵜飼由美子
市川　英治
森上眞智子
磯部　靖子
伊達　幸枝
なごみの家　先崎　実穂
ねあらい学園　仙場　侑美
協働学舎　宮本　晋司
花田　守
須山　友香
小澤　理沙
伊藤　利子

社会福祉法人ひかりの園　平成30年度法人研修 大綱

平成 30 年度の法人研修につきまして、以下のように開催いたします。
詳細は、別途研修開催要綱を都度事業所宛に送信いたします。
キャリアパスのための大切な研修です。職員の積極的な参加促進をお願いいたします。

日　程	研 修 内 容
4 月 2 日 月曜日	**新任職員研修（一次）** 施設紹介・辞令交付・接遇マナーその 1　　場所 : 第三静光園、他 （法人勤務 1 年未満の職員対象です。）
7 月 28 日 土曜日 13：00~16：30	**合同研修「地域共生社会について及び権利擁護について」** 野沢和弘講師を予定　　場所 : 浜松市地域情報センター 永年勤続表彰、ケアマネジメント技法事例検討振り返り（全ての職員が対象となります。）
8 月 22 日 水曜日 13：00~19：30	**「ケアマネジメント技法（研修内容は事例検討を予定）」** 土屋幸己講師を予定　　場所 : 浜松こども館分室「ここいーら」 講師を含めた懇親会（法人勤務 7 年以上の職員を目安とした研修内容です。）
9 月 14 日 金曜日 13：00~19：30	**「OJT 講座」** ツクイ講師を予定　　場所 : 浜松こども館分室「ここいーら」 講師を含めた懇親会（法人勤務 3 年までの職員を目安とした研修内容です。）
10 月 15 日 月曜日 9：00~12：00 13：00~16：00	**新任職員研修（二次）** 接遇マナーその 2　　場所 : 第三静光園 同日 2 回開催。勤務都合によりどちらかを選択。 （新任職員研修を受けた職員、4 月以降入社した新任職員）
11 月 16 日 金曜日 13：00~19：30	**「会議運営力強化研修」** ツクイ講師を予定　　場所 : 浜松こども館分室「ここいーら」 講師を含めた懇親会 （法人勤務 4 年以上の職員の職員を目安とした研修内容です。）

※勤務の目安はあくまでも目安であり、適材適所、他法人での経験等加味していただいて結構です。

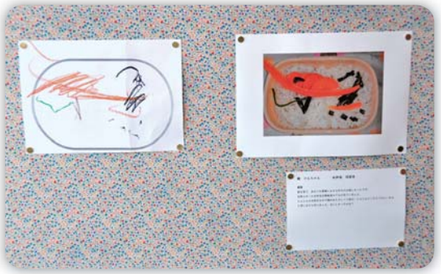
根洗学園
おべんとう画用紙展

平成30年２月10日～２月18日に、「黒板とキッチン」（万年橋パークビル）を会場に、静岡県文化プログラム推進委員会共催のもと、２回目のおべんとう画用紙展覧会を開催しました。今年度は初めて地域の園から３園も参加し、地域のつながりも感じられる展覧会となりました。

おべんとう画用紙は、根洗学園で子どもと職員がお絵描きをしている時に、子どもの絵に職員が枠を描いておべんとうごっこをしている姿を美術家の深澤孝史さんが見て、療育プログラムとして始まった活動です。お母さんが、家族が、子どもの描いたものの意味を考え、向き合い、悩み、そして生まれたお弁当の数々には一つひとつにストーリーがあり、思い、愛情が込められています。お母さんたちは「大変だった」「悩んだ」とお話する方が多いですが、同時に「楽しかった」と話される方も多くいます。根洗学園では入園したての年少さんの夏休みの恒例行事として取り入れています。

今回の展覧会には、230 人余りの方が足を運んでくださいました。感想をいただいているので紹介いたします。

・絵で描いたものを実際に作るのは面白いと思いました。子どもができたらやってみたいです。子供も大人も楽しそう。発想がすごいと思いました。（10 代女性）
・どんなお弁当も親子のコミュニケーションが聞こえてくるようです。思わずお腹がすいてきて「昔、自分の母親はどんなお弁当を作ってくれたかぁ？」と思い出しました。どんなお弁当もすてき！プロセスがいい！参加させてもらってよかったです。（50 代女性）



協力いただいたお母さん達、参加者の皆様ありがとうございました。

お店の紹介

かわせみの棲む町根洗町に不思議なお店がある。

遠州根洗窯の陶器、こもれびパンの焼き立てパンやシフォンケーキ、しまうま倶楽部の焼き菓子など、仲間たちが作ったぬくもりあふれる商品が売られている。

中には５席ほどのイートインスペースがあり、パンやコーヒーの良い香りが漂う。
実にゆったりとした時間が流れていく。
とても小さな店。あまり知られていない店。　～そしてなんだかあたたかい店だ。
ここにそんな不思議な店がある。ぜひ、癒されに来て欲しい。

（かわせみ著）

平成29年度
春のやきものまつり

前日までの雨予報を吹き飛ばし、なんと晴天！青い空、満開の梅の花の下、春のやきものまつりが盛大に開催されました。

今回のテーマは『花といぬ展』。愛くるしい犬や、いかつい番犬のようなオブジェ、春を彩る花をあしらったお皿など、たくさんの商品を取り揃えました。オブジェを手に取り「この子、すごいリアル！」「かわいいー」などの声も聞かれ、多くの作品がお客様の感動を呼んでました。また、久しぶりの開催として『絵付け体験コーナー』を開設。多くのご利用者や地域の方々があれこれ悩みながらも楽しそうに、お皿やコップに個性豊かな作品を作り上げていました。

ステージでは三幸こども太鼓・三方原中学吹奏楽部、そして常連の湖東ビックバンド・庄内ハーモニーの皆さんによる素晴らしい音楽が奏でられ、ゆるキャラの家康くん、直虎ちゃん、しっぺいくんたちも会場を盛り上げてくれました。

毎回盛況の『青葉のうどん』『春限定いちごのシフォンケーキとマフィン特別メニュー』も完売‼　ご利用者や多くの地域の方々の笑顔弾ける交流の一日となりました。

（かわせみ著）

私たち、ひかりの園の職員です。

相談支援事業所まど
山本幸代

平成 28 年度、根洗寮に生活支援員として入職しました。それまでの十数年は、精神科や子育て支援、発達相談、一般臨床等で心理職として働いておりました。根洗寮勤務後異動となり、現在「相談支援事業所まど」にて勤務 2 年目になります。市からの委託で「浜松市障害者相談支援事業所」の専任の相談員をしております。主に西区内でお暮しの方々の相談をお受けしております。

ある支援での出来事…中途障がいで体が不自由になった方の退院支援をさせてもらった時のことです。ご本人とご家族とで昔の思い出話になったことがありました。後遺症のため脳機能も障がいを受けられ、記憶が難しかったり言葉の表出も少ない方でしたが、ご家族に不幸があった頃の思い出話が心の琴線に触れられたようで、ご本人が突然泣き出されたことがありました。不謹慎かもしれませんが、とても美しい涙でした。人の感情とはこんなにも純粋なものかと感動して、共に泣かざるを得ませんでした。

人が人として持っている色んな力に感動できる自分でいたい、障がいのある方でも（できればない方でも！）豊かな感情生活が送れるように関わりたい…と心底思った体験でした。今でも日々の煩雑な業務に隠れた心の底で思っている私です。

たっく
西尾崇嗣

仕事の魅力や楽しさ

発達障がいの子ども達に対して、身辺自立やコミュニケーションを上手に取れるように、個々にあった支援を、ことばがけがよいのか、実物の提示がよいのか等を子ども達の様子に合わせて行っています。また、保護者の方の相談を受けたり、在籍している保育園や幼稚園、学校の先生方との連携調整等も行っています。

その子の状況を整理し、適すると思われる支援を自分の知識と経験から導いていくという事が求められます。特に学童期の子どもたちには、自立した生活を送る為には何が必要なのかを考えながら、将来に向けての支援を意識して関わっています。療育は正解がない中で、個々に合わせた支援を考え行っていきます。この点が大変な部分ではありますが、とても魅力ある仕事だと感じています。

第二静光園
下西ゆみ恵

入職時、施設経験ほぼゼロの私でしたが、周りの職員たちが、温かく支えて下さったおかげで、あっという間に 2 年が過ぎました。ご利用者一人ひとりを思い、各部署の職員がそれぞれ意見を出し、話し合いを重ね、連携してご利用者を支えていくところに、やりがいを感じます。

プライベートでは、東京で暮らす息子や高校生の娘と、ファッションや音楽、スポーツの話をするのが楽しいです。LINE や Instagram は、私たち親子にとって、必要不可欠なコミュニケーションツールです（笑い）。

仕事で、ため息をついたり、落ち込んだりした時には「子供たちも頑張ってる！」と自らを奮い立たせるのと同時に、おいしいお酒を飲み、大好きなバンドの音楽を聴いて、ほっと一息。気持ちを切り替えることを心がけています。

まだまだ経験不足、力不足の私ですが、ご利用者にも職員にも立ち寄りやすい、温かい雰囲気の医務室を目標に、これからも頑張っていきたいと思います。

寄付

平成 29 年度 公益財団法人小塩報恩会助成金

いただいた金額　220,000 円

浜松協働学舎根洗寮では、音響機器や電動かき氷機をいただきました。主には施設で開催する講演会、夏祭り、スマイル祭等のイベント時に活用させていただきます。イベントの開催はご利用者の楽しみでもあり、地域の方とのふれあいの場ともなっており、今後も楽しみのある豊かな生活と地域交流を継続していくことができます。ありがとうございました。

静岡出光会様 ありがとうございました。

いただいた金額　100,000 円

明石石油株式会社様のご紹介により、静岡出光会様よりご寄付をいただきました。

施設整備の充実、職員の資質向上の目的で使用させていただきます。ありがとうございました。

書道ボランティア

10 年くらい前に「利用者さんと習字をやりたいね」と職員の一言で始まった書道の時間。これまで継続して、書道ボランティアが毎月第 3 火曜日に開催されています。

平成 27 年 4 月からは福留様、酒井様が来てくださり、平成 29 年 8 月から井村様が加わり、現在では 3 名でお越しいただいています。毎回、ご利用者と交流を楽しみながら書道の指導をして下さっています。書道は、第三静光園のご利用者にとても人気がある活動です。先生から出されるその季節にちなんだ言葉をお手本に、思い思いに楽しまれています。

ご利用者の中には、「私下手だからやりたくない、恥ずかしいじゃない」と乗り気でない方もおられますが、書道教室の場所までご案内すると、墨の香りや周りの方々に刺激を受けて、「じゃあやってみようかね」と筆を持つ手も様になっているなんてこともよくあります。

ご利用者を「懐かしい」という気持ちにさせてくれる書道は、活動意欲につながる「楽しめるリハビリ」です。

いつも忙しい時間を割いてご利用者にお付き合いいただきありがとうございます。

これからも末永くよろしくお願いします。

29 年度 苦情内容等施設別報告

◎苦情 (要望・提案等を含む) 受付状況 (H29 年 4 月 1 日～ H30 年 3 月 31 日)

内容	静光園	第二静光園	第三静光園	根洗寮	根洗作業所（ラポール）	青葉の家	こもれびの家（こもれび）	すてっぷ（ぱれっと）	工房めい	工房ゆう（コムニオ）	まど	根洗学園	たっく
説明・情報提供不足	1	2									1	2	
手続きの方法の不明											1		
サービスに内容			3	1	1		1	1	1			1	
職員の言葉・態度	2		2	1			1					8	
権利侵害													
被害・損害													
利用者間のトラブル						1							
環境の問題				1	1							1	
その他		1					1					2	
合　計	3	3	5	3	2	1	3	1	1	0	2	14	0

第二静光園　苦情　相談等の報告

1、苦情　懇談会にて
朝の放送が聞き取り辛い。居室にも放送を入れてほしい。

対応
懇談会終了後、ご本人と話をして、放送が聞き取りにくいと思った時には、ご本人の申し出により内容を個別に説明することでご了承を頂く。

2、苦情　浜松市役所障害福祉課より連絡があり、2月27日に解決する。
昨年 3 月に退所されたご利用者 S 様について、一市民より在所中に虐待及び人権侵害が行われたおそれがあると浜松市障害保健福祉課に申し立てが行われた件で当局から調査を受けた。

対応
調査の結果については「内容を裏付けるような事実は認められない」との報告を受けた。
なお、2 月 27 日に職員を対象に、「障害者高齢者虐待防止法並びに障害者差別解消法について」をテーマに、浜松市障害保健福祉課及び浜松市高齢者福祉課の派遣講師による権利擁護研修を実施した。

ひかりの園後援会	
松井　米治	伊熊　かよ
御手洗幸江	大杉　賢次
榊原　康裕	平松　眞一
松井　典夫	鈴木美代子
井村　善弘	山田　和子
好田　友治	守屋　明好
西塚　紀男	岩崎　琢哉
水野　拓三	竹内　友康
長谷川敏夫	㈲山三商事
石津谷道廣	山本　博志
村瀬　敏	太田ちず子
㈱大建	伊藤　貴佳
磯部　宗孝	牧　かつ子
浜松信用金庫 三方原支店	内田　辰也
	鈴木　範子
内田　康弘	木村　博司
袴田　悦子	山本　浩之
山下　森三	株式会社 静岡銀行 三方が原支店
横井　庸夫	

今年度のひかりの園決算書・役員名簿・役員報酬規程・定款などご覧になりたい方は、当法人ホームページアドレス
「http://www.hikarinosono.or.jp/」
または、検索ページにて「ひかりの園」にて検索をし、「ひかりの園とは」→「2018 年の新着情報」にて。
パソコン等の設備がないなどの場合は、
当法人本部「浜松市根洗町 681 番地の 5
（要電話連絡 053-437-8289）」までお越しください。